

■ 平成19年度 介護保険事業特別会計

平成19年度介護保険事業特別会計の上半期収支状況についてお知らせします。

収入については、予算現額14億5,196万2千円に対して、収入済額6億8,560万9千円で、収入率47.2%となっています。

支出については、予算現額14億5,196万2千円に対して、支出済額5億2,368万6千円で、支出率36.1%となっています。

平成19年度 公共下水道事業特別会計

平成19年度公共下水道事業特別会計の上半期収支状況についてお知らせします。

本年度は、供用を開始して5年目となり、現在、公共下水道が使用できる区域（処理区域）は、140ヘクタールとなっています。この区域では、9割を越える方々が下水道へ接続されており、区域内を流れる排水路等がきれいになるなど、生活環境が大きく改善されています。

今後も、引き続き下水道の整備を進めていきますが、より一層の接続推進を図り、安定した下水道事業の運営に努めていきます。

本年度の予算額は5億9,363万5千円で、上半期における収入済額は、1億3,266万4千円。支出済額は、1億3,528万円となっています。

平成19年度 水道事業会計

平成19年度水道事業会計の上半期収支状況についてお知らせします。

本水道事業は清浄にして安全で、豊富、低廉な水を供給するという使命にのっとり、施設の管理強化、水質管理等に努めています。

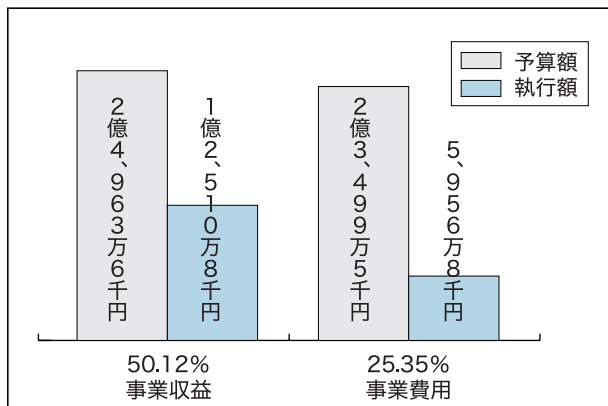
公共下水道整備や、道路改良事業に合わせて、老朽化した配水管・送水管の更新を積極的に進めているところであり、今後も、みなさまの快適な暮らしを支えるため、水の安定供給に努めていきます。

企業会計では、歳入および歳出を、当年度の損益取り引きに基づくものと、投下資本の増減に関する取り引きとに区別して、予算が計上しており、前者を収益的収支、後者を資本的収支といいます。

収益的収支の事業収益には主に水道料金が含まれ、事業費用には人件費、材料費、物件費、減価償却費、企業債支払利息等が含まれています。

また、資本的収支の収入には、配水管等布設替に伴う補償金や負担金が含まれ、支出には主に工事請負費、企業債償還金が含まれています。

収益的収支



資本的収支

